

# ミューNews

男女がともにいきいきと輝き、

住んでいてよかったと思うまち「おおぶ」

住んでみたいと思うまち「おおぶ」の実現をめざそう



ドキュメンタリー映画「おっさんずルネッサンス」  
関係者完成披露試写会を行いました。



監督 高野史枝さん

12月8日（日）関係者向け完成披露試写会をミューいしがせで開催し、200名近い方に完成ほやほやの映画を披露することができました。ナレーションを務めるアマチンさんからのビデオレターもありました！

昨年の春から撮影していたドキュメンタリー映画「おっさんずルネッサンス」が年末に無事完成しました。映画製作にあたり、ご支援、ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。

映画に描かれているのは、セカンドライフを生き生きと暮らす大府のおっさん達。(笑)

出演者数は約130名となりました。

そんな映画にはセカンドライフを幸福に過ごすためのヒントがたくさんあります。夏には大府で上映会を企画しています。ぜひ、おっさん達の生き生きと明るい表情を見に来てください！

映画音楽を担当したシンガーソングライターの「ちんちくりん」が、おっさんのユニフォーム黄色いポロシャツを着て主題歌を歌ってくださり、盛り上りました！



イラスト  
棚園正一さん

僕たちの生活と何か関係あるのかな？



# SDGs(持続可能な開発目標)てなあに？

SDGs(エスディーゼズ)とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。150を超える国が参加し、17のゴールと169のターゲット(目標をより具体的にしたもの)から構成されています。

目指すべきゴールは貧困やエネルギー問題、気候変動といったさまざまな内容が含まれていて、どの課題も地球上に住む私たちに少なからず関係があります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 持続可能な開発目標



SDGs17のゴール

## SDGsとMDGsとの違い

最近よくニュースなどで耳にするようになったSDGsですが、前身として2000年にMDGs(ミレニアム開発目標)というものが2015年までの目標として策定されていました。

MDGsは以下の8つのゴールを掲げていました。

- ① 極度の貧困と飢餓の撲滅
- ② 初等教育の完全普及の達成
- ③ ジェンダー平等推進と女性の地位向上
- ④ 乳幼児死亡率の削減
- ⑤ 妊産婦の健康の改善
- ⑥ HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止
- ⑦ 環境の持続可能性確保
- ⑧ 開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

途上国だけの問題じゃなくて、先進国も自分のこととして考えなきゃいけない課題なんだね！



MDGsは、極度の貧困に苦しむ人口の割合を当初の1/3に減少したり、新規HIV感染者数が35%減少したりと一定の効果が得られましたが、その一方で、教育・母子保健・衛生といった分野では達成が困難な課題が残されました。また、発展途上国が抱える問題を多く取り上げ、その解決策の多くを先進国が決めたことにより、途上国の反対もあつたり取りこぼすことも多く出てきました。

MDGsが途上国の開発問題が中心で、先進国はそれを援助する側という位置づけであったことに対し、SDGsは地球上の「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し、先進国と途上国が一丸となって達成する目標となっています。



## 日本はどんな状況なの？

世界のSDGs達成度ランキングにおいて、日本は162ヶ国中15位。しかし、達成ができていないのは『目標4. 質の高い教育をみんなに』と『目標9. 産業と技術革新の基盤をつくろう』の2項目のみでした。

日本にとっての最大の課題は『目標5. ジェンダー平等を実現しよう』、『目標12. つくる責任 つかう責任』、『目標13. 気候変動に具体的な対策を』、『目標17. パートナーシップで目標を達成しよう』であり、他の項目においても重要課題、または課題が残っているという結果となりました。



## 目標5. ジェンダー平等を実現しよう

日本の最大の課題のひとつ、「5. ジェンダー平等を実現しよう」のターゲットは女性差別をなくすだけではありません。未成年者の結婚や人身売買の撤廃といった、社会的な問題も含まれています。具体的なターゲットは次の通りです。

5. 1 あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対する形態の差別を撤廃する。
5. 2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性および女子に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
5. 3 未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚、および女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
5. 4 公共のサービス、インフラ、および社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
5. 5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参加および平等なリーダーシップの機会を確保する。
5. 6 国際人口開発会議(ICPD)の行動計画および北京行動綱領、ならびにこれらの検討会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康および権利への普遍的アクセスを確保する。
5. a 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ、および土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
5. b 女性のエンパワーメント促進のため、ICTをはじめとする現実技術の活用を強化する。
5. c ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性および女子のあらゆるレベルでのエンパワーメントのための適正な政策および拘束力のある法規を導入・強化する

2019年12月に発表された「ジェンダーギャップ指数」は、日本は153ヶ国中121位。特に政治の分野においては144位でワースト10に入り、政界最低の水準となりました。また衆議院議員に占める女性の比率は10.2%で193ヶ国中165位。世界基準から見た日本のジェンダー格差は深刻な問題です。また普段の生活においても日本ではまだまだ「男は仕事、女は家庭」という性別役割分業は浸透しており、男性の育児休暇の取得率も低く、個人が自分らしく輝ける社会には遠い道のりといえます。

※ジェンダーギャップ指数

世界経済フォーラムが毎年発表している、世界男女格差指数。各国を対象に、政治・経済・教育・健康の4部門について、男女にどれだけの格差が存在しているのかをスコア化し、そのスコアを元に各国の男女平等の順位をつけたもの

また、「女性である」だけで格差が生じることもあります。世界の女性の3人に1人は暴力被害に遭い、女性であるだけで十分な教育が受けられない子どももいます。

女性差別はすぐに解決すべき問題と言っても過言ではありません。

## 私たちにも必要な意識改革

『目標8. 生きがいも経済成長も』では、「2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用、及び働きがいのある人間らしい仕事(ディーセント・ワーク)、ならびに同一労働同一賃金を達成する」とあります。『目標12. つくる責任 つかう責任』では、「2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする」という、個人の生活や意識の変革を必要とするようなターゲットが設定されています。

## 環境問題

21世紀にはさらなる温暖化がもたらされると想定されており、自然や生態系にも大きな悪影響を及ぼすと考えられています。日本においては年平均気温が1898年～2014年で100年あたり約1.15℃の割合で上昇しています。主な温室効果ガスの一つである二酸化炭素は、石炭や石油の消費などにより大量に大気中に放出されます。また二酸化炭素の吸収源である森林の減少により、大気中の二酸化炭素の量は上昇傾向にあります。地球温暖化は農業作物の不良やサンゴの白化や熱中症のリスクが増加します。

また、大気中の水蒸気の増加により、近年豪雨や記録的な大雨が日本各地でも相次いでいます。その一方アフリカ大陸などでは干ばつが進み、多くの人が貧困に陥っています。

『目標14. 海の豊かさを守ろう』で考えれば、海洋資源の乱獲であったり、汚染物質やプラスチックの投棄が昨今問題となっています。海中に投棄されたプラスチックはマイクロプラスチックとなり、海洋生物が誤飲・誤食し死に至らしめたり、最終的にはその海洋生物を食べる人の身体へ回り巡ってきます。また、世界の食塩の9割にマイクロプラスチックが含まれているという研究結果もあります。

環境を考えることは、人々の生活を考えることに直結するのです。

参照：外務省/gooddoマガジン/国際連合広報センター

## わたしたちにできることってなんだろう？

一見難しそうに聞こえるSDGs。

私たちが普段からできることはあるのでしょうか。たとえば、こんな工夫をしてみたらどうでしょう。



レジ袋を買わずマイバックを利用することにより、生成するためのエネルギーが節約され、焼却される二酸化炭素も減り、プラスチックごみも減ります。



自動車の使用を減らすことで、ガソリンの消費と排気ガスを減らすことができます。

歩くことは健康にもいい♪

物を大切に使う！  
「もったいない」は素敵なこと。



3R (リデュース・リユース・リサイクル)を進めることにより循環型社会の形成へ。ゴミをなるべく出さない、出たゴミはきちんと分別することで環境への負荷が減ります。

こまめに部屋の明かりを消したり、 unnecessaryな電気を節約したり、生活を見直すことにより無駄なエネルギーを使うこともなくなります。



環境へ配慮した製品や、フェアトレード (途上国で作られた作物や製品を適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の持続的な生活向上を支える仕組み)商品を購入することによって、その企業や生産者を応援することになります。

輸送コストがかからず、生産者の顔も見える地産地消も大切！



家庭内での家事・育児の分担により、更なる女性の社会進出が増え、ジェンダーの格差解消へつながります。

職場で、学校で、差別があれば勇気をもって訴えてみよう。差別をなくすことは不平等をなくし、住みよい街づくりにつながります。



多様性を認め合う社会へ！

私たち一人ひとりにもできることはたくさんあります。

それぞれのゴールの達成に向けて、SDGsを「自分のこと」としてとらえ、行動していくことで、2030年の未来は変わっていきます。

ミュージーいしがせの図書コーナーには、SDGsに関する本もありますので、是非ご覧ください。



## 第14回 DV シンポジウム

# DV 被害者とその子どものケア

## ～心に寄り添った支援を目指して～

ミュージアムでは、夫や恋人からの暴力「ドメスティック・バイオレンス（DV）」の実状について幅広く知ってもらうために、毎年11月にロビーをパープルで飾り、DVシンポジウムを開催しています。第14回目のシンポジウムには、おやこひろば桜梅桃季 代表・心理カウンセラーの柳谷和美さんをお招きし、「DV被害者とその子どものケア」についてご講演いただきました。

### 講師プロフィール

#### 講師 柳谷 和美さん

幼少期の性暴力被害、自暴自棄な思春期、デートDV被害、孤独な子育て、虐待、うつ、離婚、子連れ再婚を経て、カウンセラー資格を取得。子どもも親も加害者、被害者にしないコミュニケーションのコツや性暴力被害当事者として、幸せをあきらめない生き方を伝えるなど、ワークも取り入れた体験型講演は、泣いて笑って癒されると好評。



### ～講師自身の体験から～

講演では、ご自身の経験をもとになぜDVが起こるのか、またその後のケアの必要性など分かりやすくお話いただきました。柳谷さんご自身、親の顔色をうかがい、日頃から親に「イヤだ」「やめて」（不快であること）を伝える事を許されず、従わなければ、叩かれる。という幼少期を過ごし、いつしか、夫婦や家族とはお互いの顔色をうかがいながら、本音が言えない、世間体第一の関係だと思っていたそう。実際に、ご自身の子育ての時も、感情のコントロールができず、子どもに優しくできなかったとのこと。孤独な子育て、虐待、うつなどつらい経験の中、心理学との出会いにより、優しくするためには、優しくしてもらう体験が必要であり、「あなたは、あなただから大事」と傷ついた人ほど、誰かに寄り添ってもらう必要があることを知り、人生が大きく変化したとお話くださいました。

「自分を大事にする生き方」を「知らない」ことで、自分のように長期にわたって苦しむ人を無くしたい。被害者も加害者も無くしたい。そんな想いから、この「伝える」という活動をしています。

### ～大切な伝え方・肯定語で伝えよう～

◆穏やかに「やさしい伝え方」をやってみよう。

(例) 片付けしてよ (怒) → 一緒に片づけよう (笑顔)

◆健全な「怒り」もある。ただし、怒りの出し方が問題。

◆怒りや言い過ぎに気づいたら謝る。「気づく」と行動は変えられる。

◆コミュニケーションは時間より質。

1分でも、向き合って話を肯定的に聴くだけでも安心感につながる。

### 自分に優しくなれると他者にも優しくできる

#### 相手を変えようとするのではなく、まず自分から

#### 心地よいコミュニケーションを

## ～ミューいしがせの取組～

ミューいしがせでは、女性の悩み相談室や、よりDVについて理解してもらうために様々な視点の講座を開催しています。

### ミューいしがせ女性の悩みごと相談室 ひとりで悩んでいませんか

#### 女性の悩みごと電話相談

**電話番号:0562-44-9117**

女性が直面する様々な悩みについて、相談員が解決のための一歩を踏み出す応援をしています。ひとりで悩まず気軽にお電話下さい。

#### 専門相談員による女性のための面接相談日

※ 2月3日(月) 17日(月)

※ 3月2日(月) 16日(月) 30日(月)

#### 弁護士による女性のための法律相談日

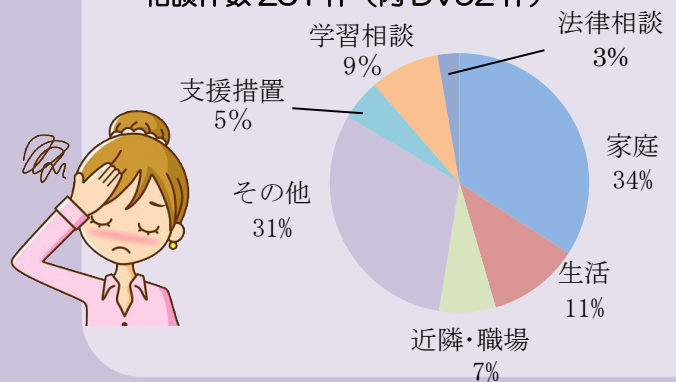
※ 3月11日(水)

面接相談・法律相談は予約制です。

令和元年度のミューいしがせの相談件数と相談内容

	9月	10月	11月	12月
電話	37	54	42	45
面接	22	21	15	15
その他	2	1	1	0

相談件数 251 件 (内 DV92 件)



## STOP DV講座～大切な人になぜ?力で支配する関係～

ドメスティックバイオレンスは身体的暴力だけではなく、さまざまな暴力があり、「これもDV?」と思うことも。DVについて理解を深め、家庭では何が起きているのか、子どもたちにどのような影響をもたらすのか、逃れるためにはどうしたらいいのかなど専門の講師を招き学習しました。

テーマ①  
暴力をする人ってどんな人?

テーマ②  
ところとからだへの影響

テーマ③  
暴力が与える子どもへの影響

テーマ④  
暴力からの回復

テーマ⑤  
相談の現場から見える暴力被害

#### 講座生の感想

- ◆DV被害者が回復するにはとても時間がかかることがよく分かった。きめ細かい対応が必要。
- ◆暴力は心と体に大きく影響する。被害者自身も自分の意見をしっかり持ち、自活できる力があれば、対等に加害者に接することができると思う。
- ◆ところとからだの傷は時間がかかるが治る。この言葉に安心しました。







# 令和2年度 会員募集

私たちの活動を応援してください☆

知ってる？

**ジェンダーギャップ指数:153ヶ国中121位**

SDGsの特集でもふれましたが、男女にどれだけの格差が存在しているかスコア化し各国の男女平等の順位をつけたジェンダーギャップ指数が日本は152ヶ国中121位と残念な結果です。政治の分野においてはさらに低く193ヶ国中165位です。先進国の中では最下位であり、日本のジェンダー格差は深刻な問題です。

## 私たちNPO法人ミューぷらん・おおぶのミッション

NPO法人ミューぷらん・おおぶは「住んで良かったと思うまち おおぶ」「住んでみたいと思うまち おおぶ」を市民全体で作り上げることを目的としています。

男女共同参画の拠点施設として、男だから、女だからと性別にとらわれず、自分らしさを大切にできる社会を目指し、啓発活動をしています。男女共同参画という言葉は難しいですが、「自分らしさ」を大切にするには、子育て、学校教育、会社、家庭、社会全体で多様性や男女平等の大切さを理解しないと変わりません。

そのためには様々な場所への啓発が必要であり、私たちは活動しています。これからを担う未来の子ども達が、そして今を生きる私たちが住みやすいまちにするために、ぜひ活動を応援してください。

### 令和2年度 事業

#### ●大府市からの委託事業（平成21年度～）

ミューいしがせの施設管理・運営  
大府市主催講座の企画・運営  
女性のための相談事業

#### ●講座企画運営事業

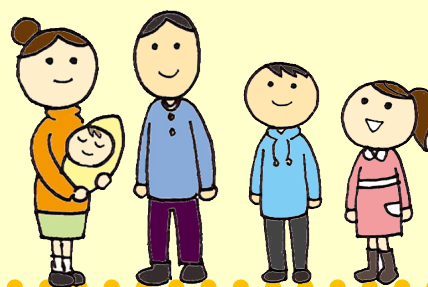
健康を考える講座  
男性の生活自立のための講座  
などの講座を予定

#### ●男女共同参画意識啓発事業

男女共同参画週間事業  
DVシンポジウム  
T・M・Y（チーム・みんなで・よろまい）

#### ●その他の事業

バザー事業



正会員	個人	3,000円
	団体（1口）	5,000円
賛助会員	個人	2,000円
	団体（1口）	5,000円

《寄付のお願い》

主旨に賛同いただける方

ご支援をお願いします

# ＊ふれあい広場 ～みんなが集う、学ぶ、語り合う場 ミューいしがせ～

ミューいしがせの図書コーナーに、続々と新刊が仲間入りしています♪  
男女共同参画についてだけでなく、健康や育児、小説などいろいろなジャンルの本があります。  
今回はSDGsに関する本の紹介です。  
是非お近くにお寄りの際はミューいしがせへお立ち寄りください。



## 「SDGsの基礎」

『SDGsとは何か?』  
『2030年の望ましい未来は、どのようなものか?』  
『なぜ、SDGsは新事業の開発に役立つのか?』  
『新たな広報・コミュニケーションとしてSDGsをどう活用すべきか?』  
経営者・経営企画・CSR担当者から、新社会人、学生まで、SDGsに取り組む全ての方に向けた必読書。

沖 大幹・小野田 真二 他/著  
事業構想大学院大学

## 「未来を変える目標 SDGsアイデアブック」

SDGsをわかりやすく、楽しく知ってもらうために、インフォグラフィックや写真、マンガなどを使い、17個の目標の説明、優れたアイデアに焦点を当てた世界の活動34事例を紹介。また専門家など14名の執筆者のコラムも掲載。

一般社団法人 Think the Earth/編著  
蟹江 憲史/監修



## 「買い物は投票なんだ」

お母さん、お父さんへ。子どもたちの未来を少しでもよくするために、今すぐできることをEARTHおじさんがナビゲートします。毎日の買い物は社会とつながっている! 「買う」を「変える」を提案する、メッセージイラストブック。

藤原ひろのぶ/著  
フォレスト出版

## 大掃除のご協力ありがとうございました

令和元年12月14日に、利用者さんと共に石ヶ瀬会館の大掃除を行いました。とてもきれいになりました。大掃除の後は避難訓練と交流会を行いました。たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。



ご意見・ご感想を  
ミューぷらん・おおぶまで  
お寄せ下さい。  
問合せ先のTEL・  
FAX・メールでどうぞ!



NPO法人

ミューぷらん・おおぶ

問合せ先 〒474-0035  
大府市江端町4-1 石ヶ瀬会館内  
TEL: (0562) 48-0588  
FAX: (0562) 44-9144  
HPアドレス: <http://www.medias.ne.jp/~myuplan/>  
Eメール: [misigase@ma.medias.ne.jp](mailto:misigase@ma.medias.ne.jp)